

令和2年3月16日

御中

一般社団法人 日本在宅介護協会
会長 市川明壽
(公印略)

『新型コロナウィルス感染症に関する緊急対応策－第2弾－』における 介護現場に対するマスク配備に関する要望書

平素は弊協会の活動に関しご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

今般の新型コロナウィルスの感染拡大は介護サービスの提供・維持にも甚大な影響を及ぼしており、弊協会加盟各社も軒並み物資の確保に困窮しております。特にマスクの在庫不足は深刻さを極め、先月末に会員企業向けに行った緊急アンケート（別添1参照）では、協会内10%の法人が既にマスクの在庫ゼロ、65%が3月中旬までに枯渇するという結果となり、誠に切迫した状況です。

そのような中、3月10日に政府の新型コロナウィルス感染症対策本部より、『新型コロナウィルス感染症に関する緊急対応策第2弾（別添2参照）』が発出され、この中で「国が一括して布マスクを2,000万枚購入し、介護施設等に少なくとも1人1枚は行きわたるよう緊急配布する」と示されたところであります。

実務的には国から地方自治体を経由して各介護施設等に配布されるものと思われますが、具体的な配布先までは明記されておらず、各地方自治体の方針・計画に沿って供給されるものと推量します。

この配備計画につき、弊協会として以下の通り要望いたします。

〈要望〉

国から緊急配備される布マスクについて、介護施設に限定することなく、在宅介護事業所についても必ず配布していただきたい。

前記緊急対応策第2弾では、「介護施設等」との表現に留められておりますが、在宅サービスは正に在宅高齢者の命綱であり、安心・安全なサービスの継続が不可欠であります。そして、これ以上の感染拡大を防ぎ、サービス提供体制を維持していく為には、在宅サービスに従事する介護職員への感染を防ぎ、不安感を払拭していくことが最も重要であると考えます。

この国難ともいるべき事態においても、全国の在宅介護事業者は何とか在宅高齢者を支えるべく日夜奮闘しております。どうかご理解賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

添付資料

1.新型コロナウィルスの影響による介護現場のマスク・消毒剤の不足状況について【緊急アンケート結果】

2.令和2年3月10日付『新型コロナウィルス感染症に関する緊急対応策－第2弾－』

(本件に関するお問い合わせ先)

一般社団法人 日本在宅介護協会

[REDACTED] 支部

事務局 [REDACTED]

TEL : [REDACTED]

FAX : [REDACTED]

以上